

2019年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

子ども一人ひとりの学ぶ意欲を引き出し、達成感のもてる授業づくりを推進する。

【学校 目標】

○子どもたちが主体的に学習したくなる姿を引き出し、自ら進んで課題を解決するための筋道を考えることで深い学びが達成できる授業作りを推進する。

【現状と課題】

- 視点1 授業における「めあて」の提示はおこなえているが、1単位時間の進み方によっては「ふりかえり」が十分にできないことがある。
- 視点2 主体的な学習の研究を通して学び合う集団作りに努めている。基本的な自尊感情を育てることでさらに自己肯定感を持って学習に臨める集団を作る必要がある。
- 視点3 若手教員の指導力を高める必要がある。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<p>【取組事項】</p> <p>①校内研究では、主体的な学び(進んで学習課題を見つけ、追求する)を通して課題解決の筋道を深く追求する児童の育成を行う。</p> <p>②「話し手の顔を見て考えながら話を聴く姿勢」を習慣化させる。</p> <p>③ねらいに通じる「めあて」を提示することで見通しをもって授業に参加させるとともに、ふり返りをしっかりさせ、自己評価と新たな課題の設定へとつなげる。(授業のPDCAサイクル化)</p>	<p>【取組事項】</p> <p>①ありのままの自分を大切に思う基本的自尊感情と互いを評価し尊重できる社会的自尊感情を育てる。</p> <p>②一人ひとりが活躍でき、満足感、成就感を感じることが出来る授業を行う。</p> <p>③基本的な学習規律と学習の自立を再確認し、全職員で徹底する。</p>	<p>【取組事項】</p> <p>①学ぶ力向上部会を中心とした授業研究と研修を行う。</p> <p>②「OJT推進リーダー」を中心とした研修にメンター制を導入し日々学び会える教師集団、若手の指導力向上を目指す。</p>

その他 取組事項

環境教育を中心とした学習を展開する中でえこすくーる連続16年を目指しつつ「主体的、対話的で深い学び」を追求する。

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体		①児童アンケートを数値化した全ての平均を出す。 ②保護者アンケートを数値化した全ての平均を出す。		
視点1	①校内研究では、主体的な学び(進んで学習課題を見つけ、追求する)を通して課題解決の筋道を深く追求する児童の育成を行う。 ②「話し手の顔を見て考えながら話を聴く姿勢」を習慣化させる。 ③ねらいに通じる「めあて」を提示することで見通しをもって授業に参加させるとともに、ふり返りをしっかりさせ、自己評価と新たな課題の設定へとつなげる。(授業のPDCAサイクル化)	①主体的な学びを追求する授業を系統的に研究し数値的に評価できるようにする。 ②児童の話す聴く姿の共通理解と評価 ③学力学習状況調査の質問紙に合わせた「めあて」と「ふりかえり」の評価の実施。		
視点2	①ありのままの自分を大切に思う基本的自尊感情と互いを評価し尊重できる社会的自尊感情を育てる。 ②一人ひとりが活躍でき、満足感、成就感を感じることが出来る授業を行う。 ③基本的な学習規律と学習の自立を再確認し、全職員で徹底する。	①自己肯定感を育てる学校全体の雰囲気作りと学級作り(児童アンケート) ②授業がわかりやすく楽しいかを見極める児童アンケートの実施		
視点3	①学ぶ力向上部会を中心とした授業研究と研修を行う。 ②「OJT推進リーダー」を中心とした研修にメンター制を導入し日々学び会える教師集団、若手の指導力向上を目指す。	①全学年による「主体的な学び」を追求する研究授業の実施。 ②OJT推進全体計画の策定と全体化。メンター制の中心となる若手教員の指名		
その他				

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--

